

I 実践

1 研究主題 「自分の大切さを理解するとともに、自らを律し、他の人を支援する能力や態度の育成」

(1) 主題設定の理由

本校では、教育目標として「自らを高め 力ある人間となれ」を掲げている。その具現化をめざして、人権教育の目標を、「自分の大切さを理解するとともに、自らを律し、他の人を支援する」こととした。「自らを律する」とは、人権問題に関する知識や関心を高め自ら、生徒自身が人権を自分たちと関わりのあることとして考えることである。そして「他の人を支援する」とは、差別や偏見と誠実に向き合い、世の中に数多く存在する人権問題を目にしたときに行動できる力を身につけることである。そのような生徒が育成できるように、人権教育を充実させる事を狙って、研究主題を設定した。

(2) 研究の内容

- ① Q-U テストの実施
- ② 道徳・各授業を通じた人権教育
- ③ 人権コーナーの活用

2 実践内容

(1) Q-U テストの実施

全学級において Q-U テストを実施している。生活の中で生徒が何を考え、どのような心理状況なのかを把握する一つ的手段として用いている。学級にいる子ども一人一人が集団の中で安心して生活し、学級全体が仲良く、協力的となるような子ども相互の好ましい人間関係を育てるために活用している。

(2) 道徳、人権教育 道徳の授業における実践

ア 「自分の大切さを理解する」

1 学年を対象に、ソーシャルスキルトレーニングとしてリフレーミングを授業に取り入れた。相手の考えを受容し、日頃は短所だと感じている自分の性格が、実は見方によっては長所ともいえることを理解することができた。一人ひとりの人間が、みな違った性格を持ち、皆がたいせつな存在であることを気づかせることによって自分をたいせつにすると同時に他者をもたいせつにする思いやりの心を育てることができた。

【生徒の感想】

言い方を変えるだけで、ぜんぜん違った感じになって面白かったし、言葉の使い方を工夫したほうがいいことがわかった。

言葉使い一つで楽になったり、相手を楽しませたりすることができた。言葉使いは大事だと思う

イ 「他の人を支援する」

「黄色い弁当箱」という資料を用いて授業を行った。本資料は、他の人から支援を受けた主人公が、恩に報いる方法を考えるというものである。主人公の行動を見直すことによって、他の人を支援することとはどんなことか、また自らが支援を受けたりした場合、どうやって相手に報いることができるのかを考えることができた。他の人を支援するという事について考えを深めることができた。

「魔王の関所」ゲームをやってみよう

ある日、道に迷って地獄に来てしまったあなた。そこに魔王が登場しました。魔王は人間に、自分の性格の嫌なところを渡すように要求します。魔王は嫌な性格がだーい好き！ なにしる悪魔ですから。人間は自分の嫌な性格を渡す。しかし魔王は少しでも良いところを見つけてつき返し（リフレーミングして）、人間を困らせるます。

(例) ゲームの例
人間「私は決心がつかないんです」
魔王「なんだ、それは何事にも慎重だということだな、良いところがあるからだめだ！」
もし、魔王が言い換えられなかったら、「よーし、人間界に戻してやろう」と言って、握手をして終了。役割を交代して続けます。

自分の考える嫌な性格	魔王の言葉

【生徒の感想】

人との関わりは大事だと思った。思いやりがあれば人間は変わる。

人助けをするとき、緊張してしまうけど、助けてもらったなら、とてもうれしいので、これからも困っている人がいたら助けてあげようと思いました。

(3) 人権コーナーの活用

人生徒自身が考えを深め、生徒同士の考えや意見を掲示し、お互いの人権意識を高めることを狙い、各学級に人権コーナーを設置した。各授業とも連携を図り、生徒の人権意識の高揚を図った。

泉丘中学校における人権コーナー作成計画

- | | |
|------------------|------------------|
| ① 子供の人権に関すること | ② 高齢者に関すること |
| ③ 障害者に関すること | ④ 外国人に関すること |
| ⑤ インターネットによる人権侵害 | ⑥ ハンセン病・HIV感染症など |
| ⑦ 同和問題に関すること | ⑧ 女性の人権に関すること |
| ⑨ 高齢者の人権に関すること | ⑩ 新たな人権課題に関すること |

II 今後の課題

人権コーナーの作成や、学級道徳などの取り組みによって、人権問題についての知識や理解を深めることができた。一方で、人権問題と向き合い行動できるようになる生徒を育成することについては、まだ不十分な点がある。今後は、人権問題を学ぶ時間を十分に確保し、行動できる生徒を育成するために、心の奥に浸透していくような人権教育を計画していきたい。また、職員間の人権意識を高めるため、教員を対象とした研修会を計画・実施することで、さらに充実した人権教育ができるようにしていきたい。

III 人権コーナー設置の様子

職員室付近の掲示コーナーに人権コーナーとして「心と命の教育」を作成した。人権に関するメッセージなどを掲示することにより、人権について考える機会を増やすことができた。

また、各学級に学活および人権コーナーとして「こころのひろば」を設置し、クラスで人権について考える機会を設けた。

人権コーナーの様子



「こころのひろば」の様子

